シェムリアップ
Moi Moi ライフ
ISSUE 95

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。

小出陽子（Yoko KOIDE）

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストランCafe Moi Moiをオープンする。同年JST（NGO；アンコール人材養成支援機構）を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。
JSTホームページ　http://www.jst-cambodia.net

4人目の勤続10年スタッフ

カンボジアでは、短期間で職を転々とする従業員が珍しくないのですが、2005年にシェムリアップにオープンしたアンコール・ガーデンカフェレストランCafe Moi Moiでは、少人数ながら皆、自分の仕事に愛着と誇りをもち、オープン当初から勤務しているスタッフもいます。

そしてクメール正月を迎えた今年4月、新たに勤続10年となるスタッフがまた1人誕生しました。4人目となるのは、アンコールクラウ村に住むソコンさんです。

10年前、栄養失調のようなやせ細った状態で入社してきたソコンさんは、まかない食がよかったのでしょうか、みるみるうちにお肌の色つやがよくなり、3か月ほどたったときには、お肉もついてとても健康的な体形になりました。

しかも、父親を早くに亡くし、家の手伝いをするために小学1年生で学校を辞めざるをえなかった彼女は、20歳になっていたにも関わらず、カンボジア語の読み書きが全くできませんでした。けれどもお料理は得意。Cafe Moi Moiで料理の腕を振るい、まじめに勤務して家族を支え、彼女の弟や妹は、皆、高校、大学まで通うことができたのです！本当にすばらしいことです。

また、勉強は得意ではないのかな～とも思っていたのですが、JSTインターン学生が教える日本語教室では、子供の頃に勉強する機会がなかった分を取り返すかのように熱心に取り組んで、今では日本語の読み書きも少しできるようになりました。逆境にも負けずに前向きに生きているソコンさん、私はとても尊敬しています。

そんなスタッフとともに、Cafe Moi Moi自身も日々成長し、お客様に愛されるレストランであり続けてほしい…。それが、運営をカンボジア人スタッフに任せた私の願いでもあります。皆さま、どうぞあたたかく見守ってくださいませ。そして、シェムリアップにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください！

Moi Moi Life in Siem Reap

4th Employee to Reach 10 Year Milestone

Some of the Cafe Moi Moi staff have been there from the start, when the café opened in 2005. In April, one employee, Ms. Sokon, was celebrating 10 years in the role.

When starting the job, Ms. Sokon looked as though she was practically starving. Soon though, thanks to the tasty staff meals (I suppose so), she was looking healthier, with a better complexion. Having lost her father early in life, she dropped out of school to help at home and was still illiterate at age 20. She has used her income from Cafe Moi Moi to send her younger siblings to University. What a wonderful gesture!

Along with staff like Ms. Sokon, Cafe Moi Moi has also grown, we thank you for your support over the years!